

1 小学部

(1) 教育目標

調和のとれた育成を目指し、児童一人一人の障がいの状態及び発達段階、特性等の実態を十分に考慮し、日常生活に必要な基本的生活習慣や基礎的、基本的な知識、技能、態度を養う。

○強くたくましい児童

心身の健康や体力の増進を図り、安全な生活を送る態度を養うとともに、日常生活に必要な基本的生活習慣を身に付ける。

○仲良く生活する児童

友達や身近な人と関わり、仲良く協力的な生活態度や人間性を養うとともに、豊かに生活する力を身に付ける。

○自らの力を生かす児童

諸感覚及び基礎的、基本的な知識や技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育てるとともに、生活に生かすことの喜びや成就感を味わう。

(2) 方針

ア 児童一人一人が豊かな生活を送ることができるよう、個性を発揮し、充実感を持てるための支援に努める。

イ 児童一人一人の実態と保護者の願いを把握し、個別の課題の整理と焦点化を行い、その解決に視点をあてた支援に努める。

ウ 基本的生活習慣の定着を図るため、基礎的・基本的な内容に対して、継続的な指導を行う。

エ 各学習指導においては、児童一人一人の能力や特性を見極め、計画的、継続的な指導を行う。

オ 学級の活動を基本にすえ、個に応じた支援を行うとともに、学習集団に柔軟性と機能性を持たせ協力体制の充実を図る。

カ 豊かな人間関係を築き、社会性を育てるため、校外学習、交流及び共同学習を児童の実態に応じて計画、推進する。

キ 中学部や高等部、各分掌、寄宿舎、事務との連携を密にして、相互の交流を促進し、円滑な学校運営に努める。

ク 保護者や地域住民、各関係機関との連携を図り、共通理解を図った教育を推進する。

ケ 児童、保護者のニーズに応じ、共通理解を図り、居住地校交流の実施に向けた支援を行う。

(3) 今年度の重点目標

ア 個別の教育支援計画に基づき、将来を見据え継続した指導の充実に努める。

イ 児童一人一人の課題と可能性を育む学習内容及び指導の充実に図る。

ウ 学年、ブロック間の連携を深め、共通理解を図り、指導の充実に努める。

(4) 教育課程

ア 編成の方針

(ア) 学校教育目標、学部教育目標をふまえ、学級の目標を設定する。また、児童一人一人の障がいの状態や発達段階に応じた個別の指導計画を立て、効果的、継続的な教育を行う。

(イ) 日常生活の指導、生活単元学習、遊びの指導等、各教科等を合わせた指導を中心とした教育課程を実施する。

(ウ) 教科別指導、領域別指導では、各教科等を合わせた指導との関連を図りながら行う。

(エ) 指導の記録をとり、教育評価及び教育課程の改善に努める。

(オ) 特別の教科道徳については、心身ともに健やかに自ら考え行動し、自立する力を育てるために全教育活動を通して、人との関わり方や決まりなどについて意図的、継続的な支援を行えるよう教育課程の編成に留意する。

イ 教育課程の編成

(ア) 各教科等を合わせた指導

○日常生活の指導

・個々の実態に応じ、基本的生活習慣の形成を目指し、身辺処理に関する知識、技能、態度を身に付けるため計画的・継続的に支援を行う。

・給食時間を通して食べることの楽しさ及び食べる意欲を育て、健康な身体作りのために継続的な支援を行う。

○遊びの指導

・楽しい活動を通して身体活動を活発にし、友達との関わりを促し、意欲的に遊びに参加する力を養う。

○生活単元学習

・児童の生活に即し、興味・関心を大切にしながら学習活動を計画し、具体的経験を通して知識、技能の向上や生活に必要な力を養う。

(イ) 各教科等の指導

○教科別の指導(国語・算数は、課題別学習として位置付ける)

a 国 語

- ・具体的な生活経験と結びつけて、日常生活に必要な聞く・話す・読む・書くなどの能力を養うとともに、それらを表現する能力と態度を育てる。

b 算 数

- ・具体的な生活経験と結びつけて、日常生活に必要な数量や図形などの初歩的な内容を理解させるとともに、それらを扱う能力を育てる。

c 音 楽

- ・いろいろな音楽活動を通して音楽に親しみ、楽しむ気持ちを育てるとともに表現力を高める。

d 図画工作

- ・いろいろな造形活動を楽しみ、造形表現の喜びを味わうようにする。

e 体 育

- ・いろいろな運動を通して楽しく身体を動かし、基礎的な運動能力を身に付けるとともに体力の向上や楽しく明るい生活を営む態度を育てる。

(ウ) 特別の教科 道徳

- ・全教育活動を通して約束や決まりを守り、友達や身近な人とより良く生活できる力を育てる。

(エ) 外国語活動

- ・児童の実態を考慮し、他の教科、合わせた指導、自立活動の内容と関連づけながら計画し、体験的に感じたり、理解したり、経験したりできるような活動を行う。

(オ) 特別活動

- ・児童の実態や発達段階に応じた学習活動の場（集会活動・学校行事等）を設定し、学級・ブロック・学部・全校の諸活動への参加意欲を高め、集団活動へ参加する態度を養う。

(カ) 自立活動の指導

- ・児童の障がいの状態や発達段階、特性等の実態を十分に考慮し、一人一人に応じた課題を設定し、教育活動全般の中で課題の解決に努める。
- ・特別な支援が必要な児童については、保護者や関係機関と連携し、自立活動の時間を設定した指導を行う。

(5) 年間行事計画

実 施 期 日	行 事 名
6月30日(金)	3年生社会見学
7月 5日(水)	4年生社会見学
未定	北海道ハイテクノロジーとの交流
8月31日(木)～9月1日(金)	宿泊研修(5年)
9月7日(木)～8日(金)	見学旅行(6年)
9月、11月	南幌小学校との交流及び共同学習
3月6日(水)	卒業生を送る会